


外部区画への軒天の作成方法

文書管理番号：1048-02

Q. 質問

玄関ポーチやインナーバルコニーに軒天（天井）を張りたい。

A. 回答

玄関ポーチやインナーバルコニーなど、外部の区画に軒天を表現したい場合は、プラン図で （外部天井(手動)）から「外部天井（軒天）」を配置します。

「外部天井(軒天)」は、外部下り壁と部屋（外部またはオーバーハング）をまとめて配置し、外部天井（軒天）を外部下り壁の高さを元に自動計算して配置します。

ここでは、2階のインナーバルコニーに軒天を作成する手順を説明します。



操作手順

① ≡ (クイックメニュー)またはメインメニューから (プラン図)を起動

② (部屋)の (外部天井(手動))をクリック

* 外部天井(軒天)の画面が表示されます。

③ 各種設定を行い「OK」をクリック

* ここでは、

外部下り壁高さ : 「500」 mm、

部屋名 : チェックを外す

部屋属性 : 「外部-面積無」

天井(軒天)高さ自動取得

: チェックを付ける

外部天井(軒天) ×

上階がオーバーハングしている部分に外部下り壁、外部部屋をまとめて配置します。
このときに、外部天井(軒天)の高さを外部下り壁高さを元に自動計算して配置することができます。

外部下り壁高さ mm ③-1
※上階階基準からの高さ

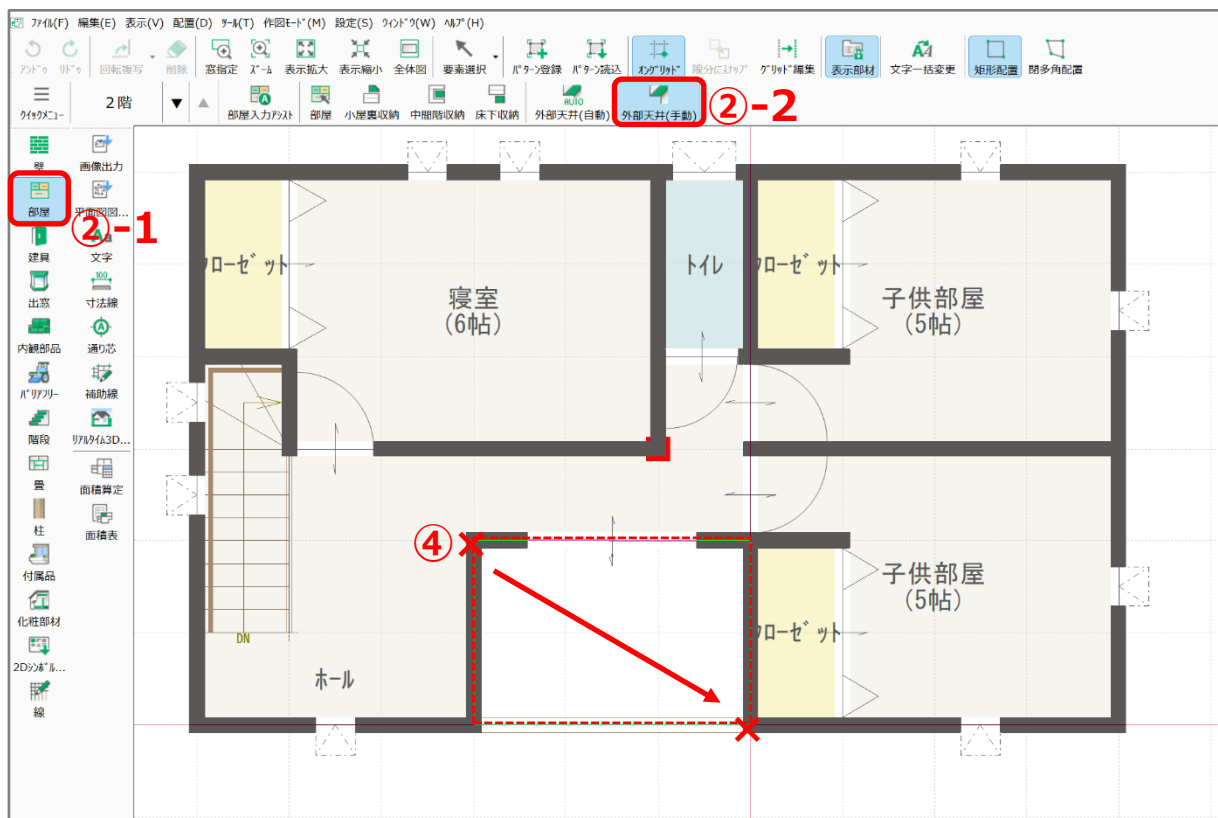
部屋名

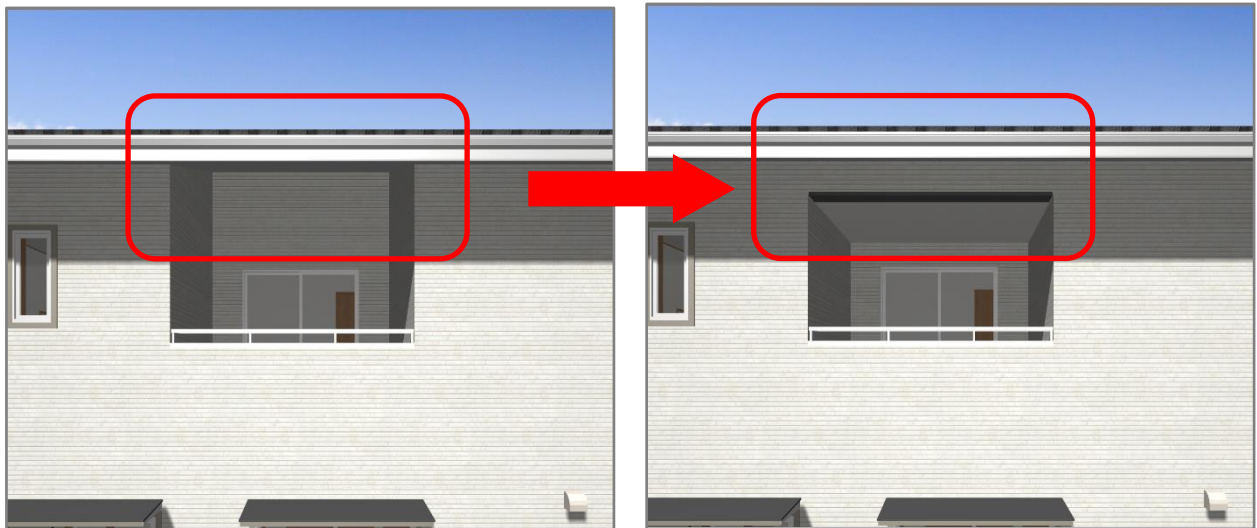
部屋属性

天井(軒天)高さ自動取得
※チェックONの場合、外部下り壁の下端の位置になります。

③-2

④ 天井を生成する範囲を囲うように指示





* 外部下り壁と天井が配置されました。

【参考】外部天井(自動)

(外部天井(自動))は、上階がオーバーハングしている箇所を自動認識して、その範囲に外部下り壁、部屋（外部またはオーバーハング）を自動で配置します。

「天井(軒天)高さ自動取得」を有効にした場合は、外部下り壁の下端の位置にあわせて天井高を自動調整します。

張り出しバルコニーの下や、屋根下には自動配置されませんので、配置したい場合は (外部天井(手動))を利用してください。

参考：外部天井(軒天)の機能を利用しない場合

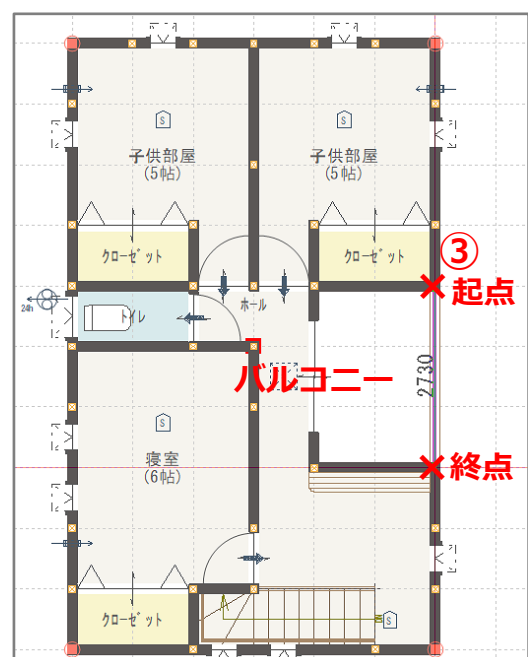
「外部天井(軒天)」を利用せず、外部下り壁と部屋、天井高を手動で設定して表現することも可能です。

① (クイックメニュー)またはメインメニューから (プラン図)を起動

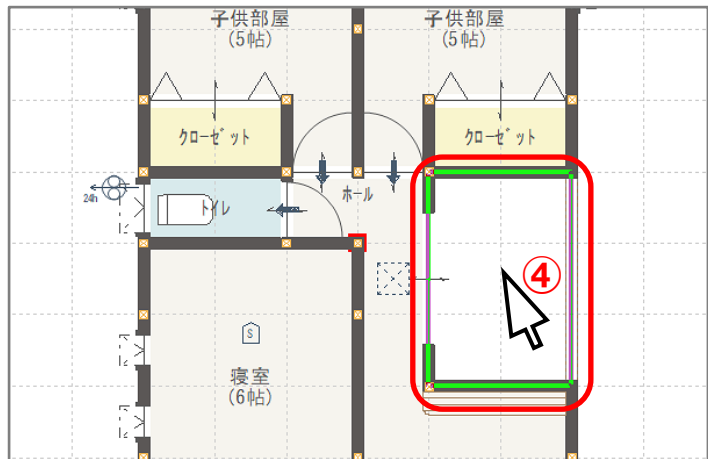
② (壁)の (外部下り壁)をクリック

③ バルコニー手摺の位置に入力

* 部屋名を設定するために、軒天を作成する範囲を壁で囲います。



- ④ (部屋)の (部屋)をクリックし、軒天を作成したい区画をクリック
- * 部屋の設定画面が表示されます。



- ⑤ 「その他」タブの「外部(建築面積有)」を選択し、「OK」をクリック
- * 「外部(***)」の部屋名を選択して設定します。
 - * 部屋名の「(」以降の文字は、部屋名を設定しても画面に表示されません。



- ⑥ (要素選択)で、外部の部屋名を設定した範囲をクリック

- ⑦ 配置しているバルコニーが選択されるので、右クリックし「次候補」をクリック
- * 画面左下のインフォバーの表示が、「区画を選択しました。」となり、部屋が選択されたことを確認します。
 - * キーボードの[Tab]キーを押すことで、次候補要素に切り替えることもできます。



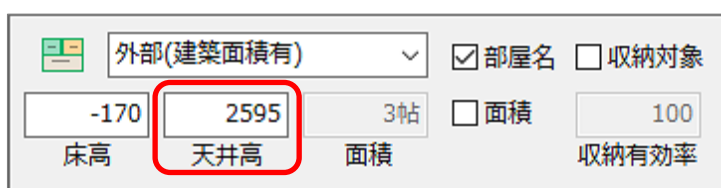
⑧ 区画を選択した状態で、右クリック

- * 部屋のスマートメニューと右クリックメニューが表示されます。



⑨ 部屋のスマートメニューで、天井高を軒天の高さに設定し、 (3Dパース)で確認

- * 天井高の基準は床高です。



- * ここでは、外部下り壁の下端の高さに合わせるため、天井高は

$$【2階階基準高さ: 2925】 - 【外部下り壁の高さ: 500】 - 【外部区画の床高さ: -170】 = 2595\text{mm}$$
 となります。
- * 建物の階基準高さは、 (高さ設定)の (階基準高さ)または (物件概要)の「建物高さ」で確認できます。

